

JA 0024243
JAN 1990**(54) STEERING LOCK DEVICE**

(11) 2-24243 (A) (43) 26.1.1990 (19) JP

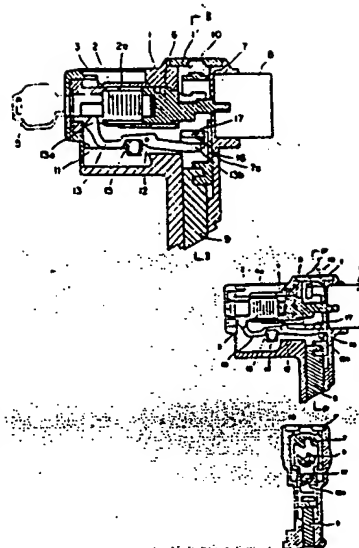
(21) Appl. No. 63-172574 (22) 13.7.1988

(71) NISSAN MOTOR CO LTD(1) (72) HARUO MOCHIDA(3)

(51) Int. Cl. B60R25/02, E05B65/12

PURPOSE: To ensure steadiness in keying by providing a tapered engaging surface on a sliding engaging piece which is driven by a check lever as a key is inserted or detached and retaining a hanger in an unlocked position by means of the sliding engaging piece via the engaging surface.

CONSTITUTION: As a key 5 is inserted in a rotor 3, a key sensing portion 13a is pushed out by the key 5 and a check lever 13 is rotated and displaced on a pin 12, causing a driving portion 13b at the other end of it to press a sliding engaging piece 16 against a wall surface of a hanger 7. Then, as the rotor 3 or cam 6 is rotated by the key 5, the hanger 7 and a keying rod 9 move in an unlocking direction. When they have turned 90 degrees, the sliding engaging piece 16 is engaged in a locking hole 7a on the hanger 7. As this occurs, the driving portion 13b keeps pressing the sliding engaging piece 16 towards the check lever 13 via its tapered surface 16b to retain the hanger 7 or, the keying rod 9, thereby ensuring steadiness in keying.



BEST AVAILABLE COPY

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 平2-24243

⑮ Int. Cl.³

B 60 R 25/02
E 05 B 65/12

識別記号

庁内整理番号

C

7443-3D
8810-2E

⑬ 公開 平成2年(1990)1月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 ステアリングロック装置

⑯ 特 願 昭63-172574

⑰ 出 願 昭63(1988)7月13日

⑱ 発 明 者 持 田 治 男 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内

⑲ 発 明 者 綿 引 喜 夫 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内

⑳ 発 明 者 佐 藤 秀 和 東京都大田区蒲田2丁目8番2号 国産金属工業株式会社
内

㉑ 出 願 人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

㉒ 出 願 人 国産金属工業株式会社 東京都大田区蒲田2丁目8番2号

㉓ 代 理 人 弁理士 滝野 秀雄
最終頁に続く

1. 発明の名称

ステアリングロック装置

2. 特許請求の範囲

キーによりロータとカムを回動してハンガー乃至施錠ロッドを移動させ、キーの抜き差しに応動するチェックレバーによりハンガーを解錠位置に保持するものにおいて、該チェックレバーにより駆動される摺動係合子にテーパー状係合面を設け、該テーパー状係合面を介して該摺動係合子がハンガーを解錠位置に保持することを特徴とするステアリングロック装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は自動車の盗難防止に用いられるステアリングロック装置に関するものである。

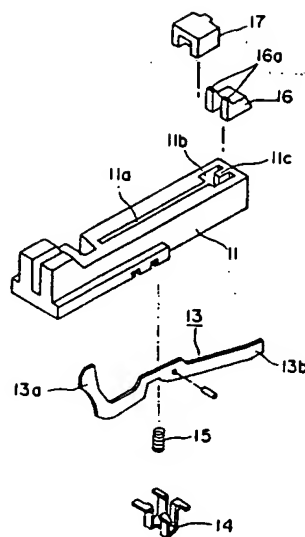
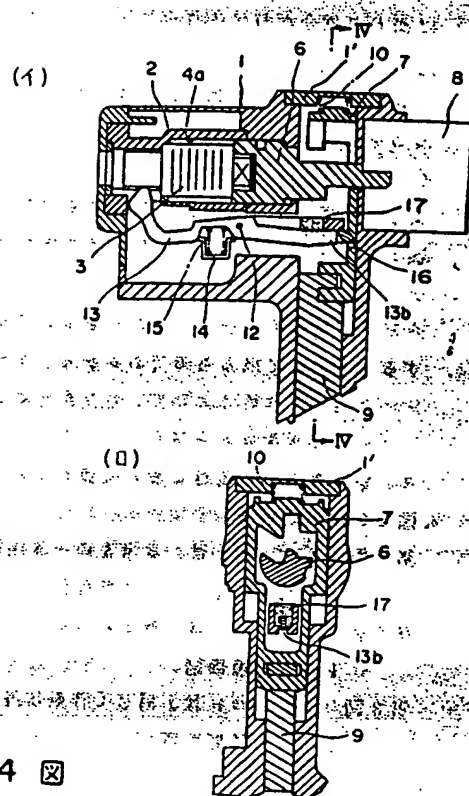
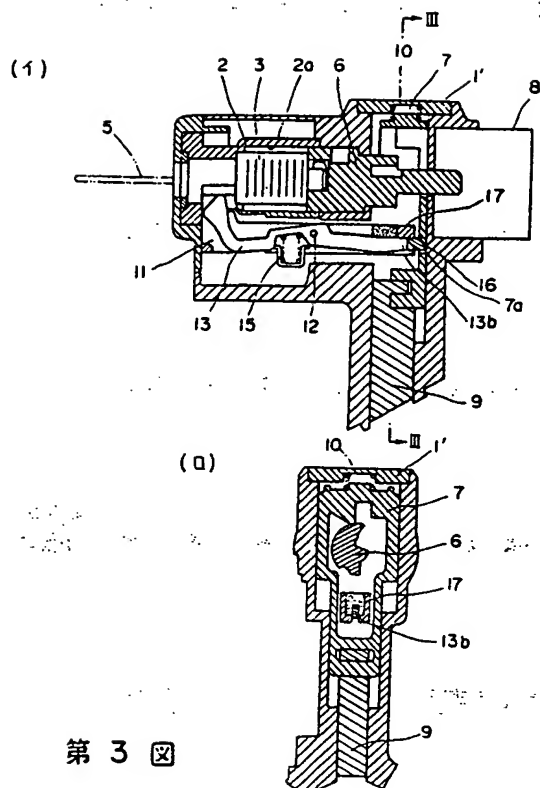
従来の技術

ステアリングロック装置においては、特開昭61-295154号公報に示される如くシリンダ錠のロータと共にカムを回動して、ロック位置に付勢するス

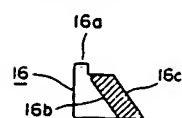
プリングに抗してハンガー乃至は施錠ロッドをロック位置から解錠位置へ移動させることにより、該施錠ロッドによるステアリングシャフトの拘束を解除して操縦、運転可能とし、この際にキーの抜き差しに応動するチェックレバーを設けてキーの挿入時に該チェックレバーの一端がハンガーの側面に圧接し、解錠動作時において該チェックレバーの端部が移動するハンガーの係止段部に係合して施錠ロッドを解錠位置に保持し、逆にロータをロック位置に戻してキーを引き抜いた際にスプリングにより該チェックレバーがハンガーとの係合が外れる方向に駆動されることにより施錠ロッドが施錠位置へ進出するようにして、運転中に誤ってステアリングシャフトがロックされる事故を防止するように配慮している。

発明が解決しようとする問題点

上記技術にあつては、ハンガーの移動方向と直交するように形成された段部に対してチェックレバーの端部が側方から進入して係合するようになっているので、スプリングの作用と相俟って係合



第 5 図



第 6 図

第1頁の続き

⑦発明者 阿久津 昇治 東京都大田区蒲田2丁目8番2号 国産金属工業株式会社
内